「みんなでハピボラ！」

令和５年度「高校生ボランティアリーダー養成事業」

各校の活動報告書

１　鶴来高等学校　・・・・・・・・・・　P1
２　野々市明倫高等学校　・・・・・・・・・・　P3
３　金沢辰巳丘高等学校　・・・・・・・・・・　P5
４　金沢商業高等学　・・・・・・・・・・　P7
５　志賀高等学校　・・・・・・・・・・　P9
６　七尾東雲高等学校　・・・・・・・・・・　P１１

心の教育推進協議会

（事務局：石川県教育委員会事務局生涯学習課）

令和５年度「高校生ボランティアリーダー養成事業」活動報告書

学　校　名	石川県立鶴来高等学校	担当の先生の氏名	岡﨑 正通
高校生リーダー氏名	田中 優希　星野 心寧　中川 百華		
活　動　名	地域とともに！　白山手取川ジオパーク推進活動		

１．養成講座で学んだことで、今年度の活動に生かしたこと

・小中学生や地域の方など関わる方に好印象を持ってもらうことができるように、笑顔で相手の気持ちに立った発表やコミュニケーションを心がけた。
・活動に際して、全国の似た活動に取り組む高校生の事例を探し、自分たちの活動に取り入れることができる部分は意識して取り入れた。

２．ボランティアリーダーとしての活動内容

活動時期	活　動　の　概　要
6 月 19 日	担当の先生と今後の活動についての打合せ
8 月 4 日	鶴来商工会の関係者の方と打合せ
9 月 20 日	地域のボランティアガイドの方との勉強会
9 月 27 日	おついたちマーケットボランティア参加者との打合せ
11 月 3 日	１,２年生（約１３０名）を対象にここまでの活動を紹介
12 月 7 日	中学校出前授業参加者との打合せ

３．実施したボランティア活動の内容

活動時期	活　動　の　概　要	活動場所	対象（延べ人数）
8 月~	**鶴来のお店紹介ショート動画作成（鶴来商工会と協力）** ・リーダー１名と２年生３名が地域のお店紹介動画を作成→学校公式 Instagram にて公開 ・１２月までに５本の作品を公開（11,000 回を超える再生回数の動画もあり）	鶴来地区	４名
9 月 30 日 10 月 1 日	**おついたちマーケットボランティア** **（一般社団法人 白山鶴来 Re 研究所と協力）** ・リーダー1 名と１，２年生２２名が参加	パーク獅子吼	２３名
10 月 7 日 8 日	**ほうらい祭り語り部活動** **（ボランティアガイド団体 加賀白山ようござったと協力）** ・リーダー２名と１，２年生１０名が参加 ・ほうらい祭りの休憩所で地域の歴史や文化を紹介 ・２日間で延べ８００名の来館者	横町うららら館	１２名
10 月~	**鶴高畑部** ・リーダー１名と１,２年生２５名が参加 ・大根を育成し、地域の子ども食堂等に寄付する予定	学校	２６名
１２月１２日 １３日	**ジオパーク中学校出前授業（北辰中、鳥越中にて実施）** ・リーダー１名と１，２年生１８名が参加 ・北辰中１年（約１２０名）、鳥越中１，２年（約４０名）対象	北辰中 鳥越中	１９名

４．成果と課題（自主的な活動の展開、活動の輪の広がり方､交渉力等の面から）

成果

・自主的にボランティア活動への参加を申し出る生徒が増えた。

・活動への理解が地域に広がり、地域の方からボランティア活動へのお誘いが増えた。

課題

・単発のイベントが多く、後輩に繋いでいくことのできる活動を進めたい。

・細かな調整やクオリティを上げていくための工夫が難しかった。

〈活動写真〉

ほうらい祭り語り部活動

鶴高大根育成プロジェクト

令和５年度「高校生ボランティアリーダー養成事業」活動報告書

学　校　名	石川県立野々市明倫高等学校	担当の先生の氏名	中田　純子
高校生リーダー氏名	山崎 千咲姫・中田 衣咲・三口 惟楓・山田 泰聖・本村 慎太郎		
活　動　名	おもてなしボランティア		

１．養成講座で学んだことで、今年度の活動に生かしたこと

・人と気持ちよく関わり合っていくために、表情、特に笑顔が大事。
・年齢や立場を考えに入れて、相手にとってのわかりやすさを意識することで、スムーズに活動できる。

２．ボランティアリーダーとしての活動内容

活動時期	活　動　の　概　要
6 月 10 日	顧問と打ち合わせ
6 月 30 日	活動の方向性（「人と関わるボランティアでおもてなしマインドを！」）と日程をメンバー内で確認
7 月 10 日	夏の企画（体験入学・小学生おもてなし）についての概要打ち合わせ
7 月 20 日	小学生おもてなしボランティア企画立案
9 月 8 日	秋のボランティア参加についての打ち合わせ

３．実施したボランティア活動の内容

活動時期	活　動　の　概　要	活動場所	対象（延べ人数）
7 月 26 日	中学生の体験入学の受付	自校	ボランティア部 7 名
8 月 7 日	小学生おもてなしボランティア ブラスバンド部 40 人 科学部　10 人 ボランティア部　7 人 案内・クイズラリー実施	自校	１・２年生（57 名）
10 月 22 日	じょんがらマラソン受付・誘導、	野々市市市民体育館	ボランティア部 5 名
10 月 29 日	金沢マラソン総合案内	西武緑地公園	ボランティア部 6 名
10 月 15 日	百万石文化祭総合案内	金沢城公園	ボランティア部 4 名
11 月 12 日	百万石文化祭朗読劇受付	音楽堂	ボランティア部 4 名

４．成果と課題（自主的な活動の展開、活動の輪の広がり方、交渉力等の面から）

ボランティアは誰かのためにするものだと思っていたけれど、ボランティアを通して自分が成長する、自分のためのものでもあって、そんなボランティアでもいいとわかった。

活動を始めた当初、指示されたことさえも、もじもじしてできなかった。「笑顔で」「声を出して」する、ことがこんなに難しいとは思っていなかった。経験を重ねるうちに、先生や一般のボランティアスタッフの方がどのように応対しているか、見て学ぶようになった。また、事前の準備や、スケジュールの把握、メモの習慣、そして困ったときは周囲に助けを求めることなどスムーズに活動できるようにすることが、気持ちの良いボランティアにつながり、気持ちのよい関係をつくるとわかった。

課題は、部員だけの活動で広がりがないことだ。一緒にボランティアしようと声をかけるのは難しいけれど、「こんな活動をしている」と見せていくことで、他のところででもやってみようかな、と思える人もいるのではないかと思う。

〈活動写真〉

着ぐるみの中にいます↓

令和５年度「高校生ボランティアリーダー養成事業」活動報告書

学　校　名	石川県立金沢辰巳丘高等学校	担当の先生の氏名	松生尚子
高校生リーダー氏名	村上　ゆりの　、　松岡　美羽		
活　動　名	今、私たちができることを「ろう学校りんご狩り交流会」		

１．養成講座で学んだことで、今年度の活動に生かしたこと

・今、私たちができることは何か
・相手のニーズは、また、相手に喜んでもらうためにはどうしたらよいか
・相手に寄り添った活動を考え、実践する

２．ボランティアリーダーとしての活動内容

活動時期	活　動　の　概　要
10 月 18 日 10 月 20 日 10 月 23 日～	顧問の先生と打ち合わせ 部活動内でやりたいことを話し合う 担当の先生と打ち合わせ 部活動内で話し合い・活動 生徒会執行部と打ち合わせ

３．実施したボランティア活動の内容

活動時期	活　動　の　概　要	活動場所	対象 (延べ人数)
10 月 23 日～	部員の想い、担当の先生と打ち合わせを行なった当日の内容について部内で話し合い、プランを作成。 ・プレゼントの内容 ・ゲーム内容 ・ろう学校児童が披露してくれるダンスをより楽しむための内容 プラン決定後、顧問・担当教員に確認し了承を得る。 ・児童へのプレゼント作成、ゲーム・ダンスで使用するグッズの作成 ・ダンス練習 ・手話での自己紹介の練習	本校	7 名
11 月 7 日	リハーサル ・生徒会執行部と当日の内容確認 ・生徒会生徒の活動補助 ・児童にケガ等の事故が起こらないようにするための注意点確認	本校	21 名
11 月 14 日	活動当日 ・りんご狩り　・交流会（ゲーム、ダンス）	本校	21 名

４．成果と課題（自主的な活動の展開、活動の輪の広がり方､交渉力等の面から）

ろう学校の児童のみなさんには、とても楽しんでもらえた。
りんご狩り、交流会と事故もなく終えることができた。

しかし、ろう学校との連絡は担当の先生のみであったため、児童のニーズを直接確認できなかった。また、生徒会メンバーに情報が行き届いていないこともあったため、来年は、生徒会執行部との打ち合わせをじっくりと行いたい。
今年の反省をもとに、来年は、リンゴ狩り交流会の実施の有無に関係なく早めに計画を立て、担当の先生に内容を提案していきたい。

〈活動写真〉

令和５年度「高校生ボランティアリーダー養成事業」活動報告書

学　校　名	石川県立金沢商業高等学校	担当の先生の氏名	北村浩之、西田敏昭
高校生リーダー氏名	面屋　花怜、油野　圭秀、内田　紗奈		
活　動　名	Ｌｅｔ‘ｓ　ｖｏｌｏ　ｔｏｇｅｔｈｅｒ！		

１．養成講座で学んだことで、今年度の活動に生かしたこと

講義では、姿勢をよくして挨拶運動を行い、笑顔で挨拶することで、学校の朝を明るくできることをまなびました。
また、他校の実践発表や情報交換をとおして、今後の生徒会執行部としての方向性についていろいろとヒントをいただきました。

２．ボランティアリーダーとしての活動内容

活動時期	活　動　の　概　要
6月1～14日 6月16日 10月23日	・講演や実践発表の動画視聴 ・各種ボランティア活動への参加について打ち合わせを行った ・毎週水曜日の挨拶運動について、確認を行った ・金沢マラソン参加生徒への説明会を県の担当者とおこなった

３．実施したボランティア活動の内容

活動時期	活　動　の　概　要	活動場所	対象 （延べ人数）
6月21日	・ゴミ拾い	学校周辺	２７名
8月5日	・スポＧＯＭＩ甲子園２０２３石川県大会	いしかわ四高記念公園	４５名
10月18日	・ゴミ拾い	兼六園周辺	１８名
10月23日	・第40回金商デパート終了後ゴミ拾い	学校周辺	３０名
10月29日	・金沢マラソン補助員として以下の部活動が実施した。 参加部活動　陸上部、ソフトボール部、インターアクト部 内容　①給水等　②激励　③清掃活動	金沢市旭町	４９名
11月8日	・ゴミ拾い	小立野バス停	１０名
12月18日	・小学生児童との交流活動	小立野児童館	１１名
12月22日	・雪かき	小立野小学校前	４４名

４．成果と課題（自主的な活動の展開、活動の輪の広がり方､交渉力等の面から）

・毎週水曜日の挨拶運動では、少しずつではありますが、一般生徒からの挨拶が返ってくるようになったと思います。

・金沢マラソンのボランティアについては、参加した生徒は元気に頑張っていました。しかし、年々参加人数が減少していると先生から聞きました。今後は、もう少し一般生徒に声掛けを行い、参加人数を増やしていきたいと思います。

・各部活動にボランティアをお願いしていますが、出来ていないのが現状です。特活課の先生を通して各部活動の先生へ連絡していただきたいと思います。

〈活動写真〉

令和５年度「高校生ボランティアリーダー養成事業」活動報告書

学　校　名	石川県立志賀高等学校	担当の先生の氏名	石田　仁志
高校生リーダー氏名	稲岡ももな、蔵谷早紀、原一浩、柴中汰粋、米町舞広、坂本七海		
活　動　名	地域を笑顔に「志賀高生徒会」		

１．養成講座で学んだことで、今年度の活動に生かしたこと

・頬をほぐす運動やあいうえお体操を行い、明るいあいさつを心がけた。
・姿勢や歩き方を意識して、行動した。

２．ボランティアリーダーとしての活動内容

活動時期	活　動　の　概　要
6 月 5 日~ 7 月 21 日	・生徒会　朝のあいさつ運動 （毎日６人で、生徒玄関に立ち、生徒や先生方にあいさつを行った）

３．実施したボランティア活動の内容

活動時期	活　動　の　概　要	活動場所	対象 （延べ人数）
5 月 8 日、 5 月 10 日~ 5 月 12 日	・あいさつ運動週間 （生徒や地域住民の方々に明るくあいさつを行った。）	学校周辺	生徒会執行部６名
6 月 1 日	・千鳥ヶ浜海岸清掃	千鳥ヶ浜海岸	生徒７０～８０名
7 月 4 日	・社会を明るくする運動 （羽咋保護区保護司会志賀支部のみなさんと一緒に、啓発リーフレットとティッシュペーパーを配布し、犯罪撲滅と明るい社会への呼びかけを行った。）	ロッキー志賀の郷店	生徒会執行部６名
9 月 19 日~ 9 月 21 日	・グッドマナーキャンペーン	学校周辺	生徒会執行部６名
毎月１回 (月曜日)	・地域ボランティア （バスターミナル周辺の清掃、増穂浦海岸清掃）	学校周辺	生徒会執行部６名、各部希望者

４．成果と課題（自主的な活動の展開、活動の輪の広がり方､交渉力等の面から）

成果

・生徒会独自で朝のあいさつ運動を行ったことにより、生徒の執行部への関心が高まり、生徒会行事の活性化に繋がった。

・執行部だけでなく、地域の方々や先生、全校生徒、各部活動と一体となって、ボランティア活動を行うことで達成感や貢献感を得ることができた。

課題

・参加呼びかけに工夫ができず、地域ボランティアの参加生徒が少なかった。

〈活動写真〉

令和５年度「高校生ボランティアリーダー養成事業」活動報告書

学　校　名	石川県立七尾東雲高等学校	担当の先生の氏名	小野　純人
高校生リーダー氏名	西田　拓馬　　浜名　凛空		
活　動　名	ボランティア週間～クラスで１つボランティアに取り組もう！～		

１．養成講座で学んだことで、今年度の活動に生かしたこと

・ボランティア活動を学校内だけにとどまらず、地域にまで広げること。
・ボランティア活動の輪を個人からクラス単位にまで範囲を広げること。
・学校行事と関連させてボランティア活動を考えること。

２．ボランティアリーダーとしての活動内容

活動時期	活　動　の　概　要
10 月 16 日	・前期ボランティア週間の振り返り （生徒と先生方の意見を聞き、後期ボランティア週間に向けて改善点を話し合った。）
10 月 17 日	・後期ボランティアの目標と内容を決定 （生徒個人による「1 日 1 善」に加えて、クラス単位で 1 つボランティア活動をする。）
10 月 19 日	・各クラスのボランティア委員の生徒と後期ボランティア週間について打ち合わせ
10 月 23 日～ 10 月 27 日	【後期ボランティア週間】
11 月 2 日	・全クラス後期ボランティア週間の報告書を提出（ボランティア委員の生徒が記述）

３．実施したボランティア活動の内容

活動時期	活　動　の　概　要	活動場所	対象 （延べ人数）
10 月 23 日 ～ 10 月 27 日	○校内・学校周辺の清掃	校内・周辺	11H(34 名)
	○keiko 場の清掃	校内	22H(11 名)
	○校内４階のカメムシ駆除	校内４階	12H(33 名)
10 月 23 日	○通学路の清掃（徳田駅から朝日小学校前までの道）	通学路	13H(13 名)
	○学校周辺の清掃	学校周辺	14H(24 名)
10 月 24 日	○校内４階の窓拭き	校内・周辺	15H(23 名)
	○20 周年記念式典で使用する名札の作成	教室	23H(10 名)
	○学校周辺の清掃 （学校前から七尾特別支援学校前までの道）	学校周辺	34H(14 名)
	○本校グラウンド・グラウンド周りの清掃	校内	35H(20 名)
	○校内の廊下の清掃	校内	33H(5 名)
10 月 25 日	○20 周年式典で使用する道具のバスへの搬入	校内	32H(20 名)
10 月 26 日	○ピロティ・中庭にある花壇の水やり	校内	24H(31 名)
10 月 27 日	○体育館・階段・トイレ・教室の清掃 （放課後あまり使用されない場所を中心に）	校内	31H(24 名)
10 月 31 日	○ランニングロード・自転車置き場の清掃	校内	21H(38 名)

４．成果と課題（自主的な活動の展開、活動の輪の広がり方、交渉等の面から）

成果

・クラス単位でボランティア活動の内容を考えることによって、各クラス様々なボランティア活動を展開することができた。

・学校行事（20 周年記念式典など）と関連付けたボランティア活動を展開することができた。

課題

・日程的にボランティア活動の時間をとることが難しいクラスがあったため、調整が必要である。

・クラス単位でボランティア活動することによって、担任・副担任の先生に任せる形になり、級外の先生を巻き込むことができなかった。

＜活動写真＞

20 周年記念式典で使用する名札を作成している様子（23H）

学校のグラウンド周辺の清掃をしている様子（35H）

校内の窓を拭いている様子（15H）